

紹介：電子コミュニティ「アイポス」

—— テント一週一文 (れ) 8月27日福岡、警固公園での玄海原発再稼働反対集会の報告

(承前)

オヤ、地下道出口からスニーカーがこちらに進んでいる。左に曲がらなくて、まっすぐテントに向かっている、早く左につま先を向けてくれないと目の前にテントという小舟があるんですよ、ぶつかりますよ、危ないですよ、この小舟は舟は舟でも陸舟なので、固定しています。へさきの先の相手の進行を見て曲がるというわけにはいかないんですよ。早くつま先を左に向けて……。

アラ、青年が透明の「入口」シートを手で開いて「こんにちは」と声をかける。ぶつかると思ったのが間違いだった。陸舟テントと知っていたのだ。

「いらっしやい。どうぞお座り下さい。初めてですか?」

「時々前を通るんですがね」

私は急いでテント前の机の上に置いてある大版ノートを取って、「このノートは賛同者の記名ノートですが、宜しかったら……」と差し出した。

「もうずいぶん前に書きました」

「じゃ村長さんからのメールは毎日届いています?」

「ハイ、見えています。あれには投稿してもいいんですか?」

「テントの趣旨に反しなければ大歓迎じゃないですか。多くの人に知ってもらいたいことがあるんですね」

「アイポスってご存知ですか?」

「知りません」

「昨年16年秋に福岡で発足した若者のグループです。<http://ipos2016.jp/>で見られます」

「探してみます。ちょっと待って下さいね。アイ、ピー、オー……と。本当だ。「若者でつくる政治・社会のメディア」ですか。オッ、規約もあるんだ。若者は民主主義の意味と機能を再確認して周囲でそれを生かしていこうって、まるでアリストテレスじゃないですか」

「アリストテレスではありません。アイポスです」

「いやいや、分かっていますよ。アリストテレスのことは忘れて下さい。……自分と政治の距離の確認、政治への参加、投票権の行使などに向けてアイポスはウェブを最大限に活用して情報を発信し、コミュニケーションの場を作り出す、この福岡の地で、というわけですね」

「規約をまとめて説明しているんですね」

「そうやってしまえば身も蓋もないけど。でも規約はまだまだ続くじゃないですか。メンバーは20歳代の若者で、ウェブでの発信、討論を中心とする電子コミュニティというところですね。カテゴリーは投書、記事、インタビュー、コラム、ニュースとなかなか多彩」

「インタビューやコラムはいろいろな方に協力していただいています。若い方々だけではなく、壮老の方々も自分の意見を忌憚なく発表していただいています……。記事やニュースは編集部が中心になってまとめています」

「編集部として楽しみなのは投書ですか?」

「そうなのですが、投書はなかなか来てくれないのですよ」

「催し物やイベントや集会の一覧も記載しているんですね」

「見やすくするためにカレンダー形式で記載しています。イベントはタイトルだけでなく簡単な説明もつけています。一目で今日は何がどこであるか、明日は……と分りますから、役に立つと思いますよ。アイポスのメンバーは出来るだけこれらのイベントに参加して知識を広げて深めて、情報の発信もしています」

「ドナーも募集中ですね」

「そうなのですよ。ぜひ宣伝しておいて下さい」

「分かりました。それでお願いがあるんですけど」

「アイポスの宣伝になります?」

「もちろん! 8月の27日に警固公園で「オール九州 玄海原発再稼働 許さない!」集会があったんですけどね」

「ア、行きましたよ」

「すごい。でもあの日は暑かったね」

「公園の石畳の上に腰を下ろしていたらお尻が熱くて熱くて……。でも若い人も結構来ていましたよ」

「それでね、その集会、その後のデモ、九電本社前でのアピールなどの報告文を書いてくれない」

「いいですよ」

「エ、いま何て言った?」

「いいですよって言いましたよ」

「ワー、君は神様ダッ。君が書くの?」

「僕が書きますよ。いつまでにですか?」

「9月のね……」

(以下次号)

(文責 栗山次郎) 2017年9月11日公開

添付: [「アイポス会員」氏の参加記](#)